

祝 辞

陽光桜の蕾がふくらみはじめ、春の訪れを感じる今日このごろ、松山東雲女子大学、松山東雲短期大学をご卒業される皆さん、おめでとうございます。

これまで、皆さんを見守り支えてこられたご家族をはじめ教職員の皆様、心よりお慶び申し上げます。松山東雲学園同窓会を代表いたしましてお祝い申し上げます。

二〇二〇年一月末ごろからあつという間に世界に広がった新型コロナウイルス感染症は、未だに先の見えない状況が続いています。そうした中にあつても、本日、ご卒業を迎えられた皆さんは、「知性と人間性を育む東雲」での学生生活を通して、多くの学びがあったことと思います。同窓会としてお会いすることの機会は少なかったのですが、日々の授業や実習、各種の行事、産官学連携地域協働授業やボランティア活動など、地域社会とつながりをもって活動しておられる皆さんの様子は、新聞やテレビなどで伝わり、話題になっています。一方、声を合わせて讃美歌や学歌を歌う機会が少なかったのではないかと心配していました。制約のある生活は、これからも続くと思いますが、これまでに以上に健康に気をつけて、人と人との出会いやかかわりを大切に過ごして下さい。

私たちの母校は一八八六年、キリスト教精神に基づいた女子教育を行う学校として創立されました。建学の精神は、「信仰・希望・愛」であらわされ、創立一三六年を迎えた今日も皆さんによって、その精神が受けつがれていることに感謝申し上げます。男女共同参画が課題となっている現在の社会においても重要な役割が求められています。

特色ある本学で学ばれた皆さんは、今日、たくさんの思い出をもって、友だちや先生方とお別れし、新しい世界へと出発します。建学の精神を心に留め、本学で学んだ誇りをもって、新しい場で一歩一歩、誰もが自分らしくいられる環境づくりを目指して、仲間とともに歩んでいただきたいと思います。

松山東雲学園同窓会は、卒業された皆さんを同窓会会員としてお迎えいたします。年に一回、会報誌「雪びら」を発行し郵送します。お手元に届きますよう住所に変更がありましたら、お知らせください。

今年度は、三年ぶりに大街道の「門前まつり」に参加して、「お山のバザー」を開催しました。地域の方々に喜んでいただくことができ幸いです。また、「クリスマス集い」も高橋圭三学長に参加していただき、桑原キャンパスにて行うことができました。「ハレルヤ」の合唱や「校歌・学歌」を歌い、交わりの時をもちました。三月一日には、「新幹事さんとの集い」を開催予定です。

いつか同窓会も「入学式」「大学祭」や「ホームカミングデー」「卒業式」などに参加できるような時がきますようにと願っています。

同窓生の活動は、他にも「手芸を楽しむ会」「讃美歌の集い」「みつばサークル(童謡)」などがあり、会員の親睦と母校の発展に寄与することを目的として活動しています。共に取り組んでいきましょう。同窓会から卒業記念品を贈らせていただきます。

最後に、卒業生の皆様お一人おひとりに神さまの恵みが豊かにありますようお祈り申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

二〇二三年三月一日

松山東雲学園同窓会

会長 菅田 栄子